

後世に伝える 平和の尊さ

8月5日(火)・6日(水)に、市内中学校の生徒による広島平和教育研修を行いました。研修の様子と参加した生徒の平和への思いをお伝えします。

問 総務人事課 行政係 ☎0263-520280 内線1312

中学生が体感する広島歴史

本市では、平和で明るく住みやすい郷土の発展を願って、昭和60年に「平和都市推進の宣言」をしました。また、平成6年度からは広島平和教育研修を行っています。

この研修は、市内の中学校の生徒が戦争の悲惨さや平和の尊さについて現地で学ぶとともに、広島市で開催される平和記念式典に参加するものです。平和のために自分にはどん

なことができるか、そして戦争や核兵器の悲惨さをどのように後世に伝えていくかなどに思いを巡らせます。

平和への思いを伝える

「平和祈念のつどい」

戦後80年が経過し、戦争を知らない世代が大多数を占めるようになりました。広島市を訪れ、原爆被爆者からの講話や資料館の見学などを通じて、平和の尊さ、戦争や核兵器の悲惨さを感じた中学生。8月11日(月・祝)に市保健福祉センターで行われた「平和祈念のつどい」では、それぞれが感じた平和への思いを発表しました。

また、長崎に投下された原爆により被爆された橋本富太郎さんを講師に迎え、戦時中の様子や平和の大切さ、戦争のひどさを伝えていただき、平和について考える一日となりました。

主な研修日程

- 8月5日(火)
 - 中・高校生ピースクラブの皆さんによる原爆被害の説明と原爆被爆者による被爆体験の講話
 - 原爆の子の像へ折り鶴の奉納
 - 広島平和記念資料館の見学
- 8月6日(水)
 - 平和記念式典に参加
 - 平和記念公園と原爆ドームの見学



4 平和記念公園内を散策し、原爆ドームを見学しました。
 5 原爆で亡くなった子どもたちの霊を慰め、平和を呼び掛けるために建立された「原爆の子の像」に折り鶴をささげました。
 6 7 広島平和記念資料館を見学。資料の一つ一つから、原爆のすさまじさ、恐ろしさを感じました。
 8 9 10 「平和祈念のつどい」では、長崎平和推進協会の継承部会に所属している橋本富太郎さんによる講演と、中学生による研修報告を行いました。

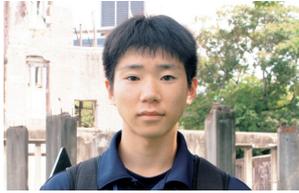
1 ユース・ピース・ボランティアのメンバーから、原爆の仕組みや爆発することでのどのような被害が発生するのかなどの説明を受けました。
 2 3 全国から小・中学生や高校生が集まり、「あなたの地元では、第二次世界大戦中にどのような被害を受けましたか」などをテーマにグループディスカッションをしました。

研修に参加した中学生が語る 平和への思い



広島平和教育研修に参加した12人の中学生の皆さんが、研修を通して感じた思いを紹介します。

塩尻中学校



本田 大樹さん

原爆が投下された当時の広島
島の状況を学び、被爆者のお話
から、戦争の悲惨さや、戦争を
なくしたいという強い思いが
伝わってきました。二度と同じ
過ちを繰り返さないように、
被爆者や遺族の思いを受け
継ぎ、戦争の悲惨さや恐ろし
さを伝えていきたいです。



川口 諒恭さん

平和記念式典では、犠牲者
への哀悼の意が込められ、黙
とうの瞬間には深い静けさと
ともに、戦争の悲劇を忘れない
ことの大切さを学びました。
この式典を通じて、平和の尊
さを実感し、未来のために平
和を守り続ける責任を感じま
した。

丘中学校



齊藤 劉斗さん

自分だけければいいとい
う考えは良くない結果につな
がり、相手を思いやる心や行
動は良い結果につながると考
えました。自分の学んだこと
を家族や友達に話して、広島
での出来事を忘れず日々の行
動から相手のことを考える人
が増えたらいいと思います。



蜜澤 有紗さん

人の嫌なところを見るので
はなく、人の良いところに目
を向けることや、感情のまま
に行動する前に、自分で制御
することが大切だと理解でき
ました。あいさつや思いやり
など小さいことを少しずつ積
み上げることで、平和の実現
につながると信じています。

広陵中学校



佐倉 夢さん

私はもっと多くの人に平和
の大切さを伝えたいと思いま
した。まずは学校や家庭で話
し合い、平和について考える
時間を持つこと。自分自身が
日々の生活で相手を思いやる
行動を積み重ねることが、未
来の平和につながると信じて
います。



高野 耀司さん

「自分の考えは正しい」「相
手のことなどどうでもいい」
という自己中心的な考え方が
大きくなり、戦争を起こして
しまう。広島で起きた出来事
が世界各地でももう二度と起
きたくないよう、平和の尊
さを、互いに尊重し合うこと
を後世に語り継いでいきたく
と思います。

塩尻西部中学校



市瀬 瑛太さん

この二日間を通して僕が平
和のためにできると思ったこ
とは、学んだ原爆の悲惨さを
次世代に伝えていくこと。そ
して、もし相手と違う考えだ
ったとしても、それを受け入
れ話し合うことです。そうす
ることで、平和に近づくこと
ができると思います。



青柳 結為さん

戦争がいかに残酷で、平和
がどれだけ大切か知ることが
できました。広島で起こった
悲惨な出来事を人々に伝える
ことや、力ではなく話し合い
を大切にすること、お互いを
知り理解し合うことを大切
にし、何か一つでも平和のため
の行動をしていきたいです。

両小野中学校



河西 咲世子さん

研修を通して、平和の大切
さを強く感じました。原爆や
戦争の悲惨さを知ることで、
争いのない世界を作るために
自分たちにできることを考
えるきっかけになりました。こ
れからも平和について学び
続け、周りの人にも伝えてい
きたいと思っています。



吉江 悠香さん

被爆者の体験談を聞くこと
で、戦争がいかに多くの人々
の人生を奪い、深い苦しみを
もたらしたのか知り、深く心
を打たれました。戦争の記憶
を風化させることなく、平和
な社会を守っていくために、
自分にできることを考え、行
動していきたいと思っています。

楳川小中学校



宮原 琴美さん

思いやりの心を大切に、
個性や意見を真っ向から否定
するのではなく、受け入れ、
尊重すること。仲間を思い
やり行動することが大切だと
改めて感じました。この研
修で学んだことを行動に移し
ながら、身近なところから私
なりの平和を広げていきたい
です。



石本 真桜さん

平和を切に願う広島の人に
触れ、互いに手を取り合って
助け合うことの大切さと、武
器を取らないことを伝えた先
人たちの姿を知ることができ
ました。身近な人に今回見聞
きたことを伝え、武器を持
たない平和な未来の実現につ
ながっていきたくと思いました。